

といろ通信

2018年03月

第68号 (弥生)

いつもという通信を読んで下さっている皆様、こんにちは！という木曜スタッフの川澤岳也です。今回もどうぞよろしく願います！今、これ（という通信）を書いているのが2月下旬なんですけど、風邪っぴきでタイピングしてます。というの午後の当番を下田つきゆびさんに任せて早退し、布団にもぐりこんで二日間寝たんですけど、治りませんでした（汗）。そして今日はつな・かんの打ち合わせという日程になっております。さて、どうなるでしょうか？

↓で、つな・かん高知を終えたんですけど、風邪は治りませんでした（大汗）。結局、風邪っぴきのまま打ち合わせから本番に突入し、全行程が終了しました。こんなんでいいんですかね？とあえず、休眠等は多めにとり、栄養ドリンクなども飲ん

だ末の結果なんですけど、年のせいですかね？うーむ、「コメンナサイ！」という訳で、というところですが、今回のという通信はつな・かん高知（正式名称 ひきこもり つながる・かんがえる 対話交流会 in 高知）のこぼれ話をメインにお送りしたいと思います。よろしく願います！あ、こう書いておいて何ですけど、つな・かん高知の一週間前に開かれたつな・かん徳島から話がスタートします。皆様、ご承知置きください。では、始まりはしまりー！。

2月18日、高知一宮の某スーパー駐車場から坂本会長と私を含めたひきこもり当事者3人、計4人でつな・かん徳島に参加する一団が出発しました。車は高速道路を走り、川之江ジャンクションから徳島道に入り、吉野川サービシアreaでの休憩ののち、徳島市中心部に向かいました。目的地に向かう車内で、坂本会長から「今、この車が走っている高速道路の真下が、地理学的に言えばいわゆる中央構造線です」と解説があり、聞き入りました（吉野川サービシアreaでは運転手が坂本会長から当事者のAくんに交代しました）。



そして、徳島市に入り、会場近くの店で昼食を摂ったあとで、会場入り（私は右の徳島ラーメンを食べました！）。当日の各テーブル

のテーマ発表の後、めいめいが好きなテーマのテーブルに分かれる。私は「居場所」に関するテーブルに就いた。ちなみに、坂本会長も同じテーブルだった。しかし、問題発生。前半、テーブルで開かれた討論が余りにレベルが高く、川澤は前半が終わった時点で燃え尽きてしまった。それで、休憩のため、階下に移動して休んだ後、後半は途中から「フリーテーマ」のテーブルに移動し、ほとんど会話に参加せず休息した。もっとも、そのテーブルも前・後半で何かの共有がなされていたらしいのだが、

プログラム後半の途中から参加した私には脈絡がつかめなかった。ただ、そのテーブルにいた女性が、「私、すごいネガティブなんです・・・。」と話し、皆が同意していたことは印象的だろうか、何か心に引っ掛かるものがあった。その後、全体共有を終え、事後整理を終えた後で、というに宿泊する予定になっていた関西の某当事者さんを伴って会場を後にした。という感じで高知つな・かんへと移行したのだが、今になって振り返ってみると、個人的には正直「失敗したな・・・。」というのが自分の感想だった。何故か？多分高知つな・かんが自分の中で大成功だったと思えたのに反し、それに比べてあまり新しい体験が手に入らなかったのが悔しかった。めったに会えないひきこもり界隈の方々と話が出来ただけでも儲けもの、なのだが、徳島に行く機会自体が限られていたので、現地の物珍しさに圧倒されて気持ちが入りやすく整理できてなかったのが失敗の要因かもしれない。人間って、贅沢を言い出したらきりがないのかも知れない。「コメンナサイ！（後半へ）」。

そして、木曜日(2月22日)の居場所(という)で風邪気味のため、当番の後半を下田つきゆびさんに任せたりして高知つな・かんへの一週間を過ごし、2月24日、つな・かん前日を迎える。



打ち合わせ会場は本番当日の25日と同じく高知市東部健康福祉センター。先にあげた写真が当日、打ち合わせに使われた板書。翌日のつな・かん高知本番に向けて、当日に各テーブルで持たれる話し合いのテーマのたたき台が提示される。川澤もテーマを受け持つことになるため、少し発言する。話し合いの初めの方で提示したテーマがあまり良くないと自己判断して撤回し、より良いと思われる議題(つな・かん高知本番

で川澤が受け持ったテーマと同じもの)を提示、了承される。打ち合わせ終了のち、めいめいの方法でひるめ市場に移動し、懇親会。川澤、酔っぱらう。このことが翌日に響いてくるのだが、この時川澤はそんなことを知る由もなかった。元々日常生活でお酒を口にする機会が極めて少ないため、一応アルコール度数の低めのお酒を覚えてもらったのだが、つい飲み過ぎてしまっていたのだ!そして迎えた2月25日のつな・かん高知本番。電車・バスを乗り継いで会場入りした川澤は、他県のひきこもり当事者と会話しつつ、直前打ち合わせの開始を待つ。そして打ち合わせ開始。話し合いの最中に、川澤は「昨日と同じところに置かれているホワイトボードに対して昨日と反対の向きで座ったけど、何かおかしいな・・・。」と気づく。そして打ち合わせ終了後、皆が会場の準備を精力的に行っている中で、自分が話し合いで決定した本番の了解事項をまるで理解できてなかったことに気づき、頭の感覚がぼんやりしていることも相まって(というよりだから)、「ひょっとしてこれは・・・、」と思い、KHJ本部のスタッフの岡

田さんに「もしかしたら二日酔いかも知れないです・・・。」と打ち明ける。それまでの人生で、飲み会の後に本番がやってくる、というパターンがなかったためのことなので(経験不足)、仕方ないと言えば仕方ないのだが、ここで潰れると社会人失格になってしまったため、川澤は大いに困っていた。結果、岡田さんから頓服的な飲料(薬や栄養ドリンクとは違う二日酔い用の飲み物らしい)が支給され、本番前に風食と一緒に飲む。そして本番。様子を見てこれはまずい、と坂本会長が判断されたのか、川澤のテーブルに会長がついてくれた。偶然にもやって来た方はいろ通信の読者の親御さん。上手く話せていない私の話を懸命に聞いてくださった。そして前半終了。後半はひきこもりセンターのスタッフの方や、いろいろ鳥の会の会員の親御さん、そしてこの日の朝、話を聞かせてくださったひきこもり当事者と言った顔ぶれでの話し合い。何とか終了に至る。全体共有も起死回生で終わらせた。今回は以上です!ありがとうございます。

〈では皆様、また来月!〉
居場所「という」の所在地は

〒781-5102
高知市大津甲969-3です。

TEL・FAXは

088-821-6519

メールアドレス

qwy3dr9k@globe.ocn.ne.jp

または

skatoiro1016@gmail.com

お便り、お待ちしております。

相談メール・友達メール・お尋ねメール何でもOKです。

〈というスタッフからのお願い・初めて来所される方はどうぞお読みください〉

というは月・水・木・土曜日の午前10時から午後4時までの間オープンしています。もちろん、アポなしでの来所も構いませんが、出来れば来る前に居場所にお電話いただくと助かります。というの近くまで来てくれたら迎えに行くことも出来ます。一度試しに覗きにおいでくれたらと思います。お菓子と飲み物(麦茶・ジュース)があります。漫画コーナーには「ジョジョの奇妙な冒険」文庫版 第一部・第二部と第四部が揃っています。第三部を揃えるかは未定です・・・。漫画版「君たちはどう生きるか」もあります!